

9月16日から就職選考が始まりましたが、内定を得るために、作文の練習や面接練習を行うなど、精力的に準備をされていることと思います。今号では、求人・求職の状況や、自分の将来の職業について考える貴重な機会となるインターンシップの取組などについて紹介します。

□ 求人・求職状況（7月末現在） □

北海道労働局が、令和4年8月30日に発表した、7月末現在の「令和5年3月新規高等学校卒業者の求人・求職状況」によると、道内における求人数は14,579人（前年同月比12.4%増）、道内求人倍率は2.42倍（前年同月比0.45ポイント増）となり、主要産業別の求人数は、全ての産業で前年同月を上回りました。

受験に当たっては、複数の求人票を見比べたり、事前見学をしたりするなどして、入社後のミスマッチが少なくなるよう企業研究をじっくりと行いましょう。

新規学校卒業者の求人・求職状況の推移

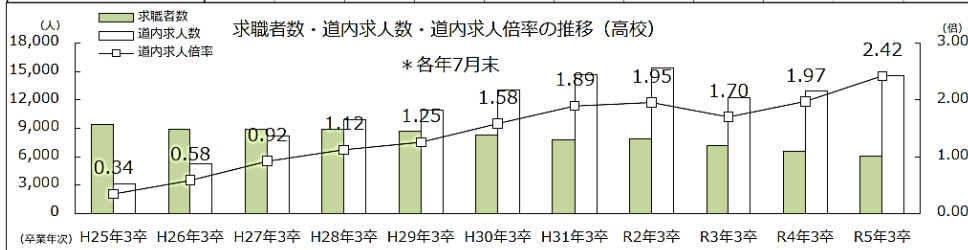
（高校）

（各年7月末現在）

	H25年3卒	H26年3卒	H27年3卒	H28年3卒	H29年3卒	H30年3卒	H31年3卒	R2年3卒	R3年3卒	R4年3卒	R5年3卒
①卒業予定者数	53,568	51,378	51,672	50,922	50,774	49,576	48,847	48,097	47,474	47,059	45,217
②求職者数	9,425	8,925	8,891	8,846	8,732	8,245	7,752	7,862	7,204	6,590	6,024
③道内求人数	3,170	5,192	8,187	9,924	10,957	13,004	14,663	15,369	12,250	12,974	14,579
④道内求人倍率（③/②）	0.34	0.58	0.92	1.12	1.25	1.58	1.89	1.95	1.70	1.97	2.42

<前年同月を上回った主な産業>

- ◇宿泊業、飲食サービス業
308人増(42.9%増)
- ◇製造業
411人増(22.3%増)
- ◇運輸業、郵便業
136人増(20.1%増)



出典：厚生労働省北海道労働局

□ 「高校生の小・中学校等におけるインターンシップ」について □

北海道教育委員会では、在学中に自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択できる力を育成するため、インターンシップを推進しています。特に、進学希望者が多い普通科においては、大学卒業が前提となる資格を要する職業等を対象とした「アカデミック・インターンシップ」を実施するなど、学科の特色を踏まえた取組を推進しています。

また、令和2年度から実施している「高校生による小・中学校等におけるインターンシップ」事業には、教員を志望する多くの高校生が参加しています（右表参照）。体験した高校生からは、「授業以外にも色々な仕事があることが分かりました。」「児童生徒に教える時に、どうしたら理解してもらえるのかを考えるのが、大変でした。」などの声が寄せられました。

「高校生の小・中学校等におけるインターンシップ」実施状況（過去2年）

	実施 高校数	受入 小学校数	受入 中学校数	参加人数
R2年度	27校	34校	25校	164人
R3年度	36校	66校	69校	387人

□ 自衛隊と連携・協力した取組について □

自衛隊では、学校との連携・協力を進めており、インターンシップの受入を行っています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、高校生へのインターンシップは実施できませんでしたが、高校での説明会は、延べ186回開催されました。

また、学校教育における防災意識の高揚に協力するため、各学校における防災教育の取組として、防災講話や防災訓練を行っています。

防災講話（生徒向け）	防災用装備品展示	防災訓練
・災害時の心構え ・準備しておくべきもの ・災害派遣体験談・教訓	・防災用装備品の展示 ・防災用装備品の使用のデモンストレーション など	・ロープなどの応急機材の使用方法 ・怪我をした際の応急措置 など



救急法実習（傷病者搬送）の様子